

2008年度に前々任校（石狩小学校）で行った雪の実践です。全校児童89名。担任する3年生は18名であった。バス通学の子供もおり、日常、積極的に外で遊ぶ子供が、非常に少ないと感じた。休み時間の遊びも、雪山でのチューブすべりが認められているにもかかわらず、体育館が中心であった。

雪国に暮らす子供として、雪の大変さばかりでなく、雪の楽しさを教えたいと思い、理科の時間を使って実践を行った。

(1/22の学級だよりから)

### ◎活動内容

1. 雪を観察しよう
  - ①降ってくる雪をルーペで見よう！
  - ②雪穴を掘って断面を見よう！
2. 雪の生き物をさがそう
  - ①植物や動物はどうなっているかな？
  - ②何の足跡だろう？
3. 「雪たんけん館」で学習しよう
4. ゲストティーチャーからお話を聞こう
  - ①教育大学の高橋先生に聞こう
5. お礼の手紙とまとめ

(パソコン室で)

「キーボード練習に疲れた人は、雪たんけん館を見てもいいよ。」

「やった~~~~！！」

「雪たんけん館」を見るのは、ごほうびだった・・・

「あの雪たんけん館を作った先生が、教室に来てくれるよ。」

「ええっ?! やった~~~~!!!!」

高橋先生の来校を、とてもとても楽しみにしていた。

## 理科で自然たんけんをしました！


雪の上に  
小さな足  
あとを発  
見しまし  
た。  
キツネ?

今週の理科で、グラウンドを  
探検しました。雪の下に生えて  
いる草は「茶色」と予想して、みん  
なで穴を掘りましたが、結果は…  
「1月19日(月)  
今日5時間目の理科で、2班  
でスコップをもってほってみたら  
土が出ました。草はなかったけど、ほかの  
班がほっているところをみたら草があって緑でし  
た。わたしは冬でも緑なんだと思いました。びっ  
くりしました。こんど、にわでほって  
みたいですよ。」 (児童の日記から)  
雪を使って学習できるのは、北海道人の特権で  
す。雪にたくさん親しんでほしいと思います。


(2/27の学級だよりから)

## 雪の授業、楽しかったよ!


昨日26日(木)の理科の授業は、ゲストティーチャーとして教育大学の高橋先生に来ていただきました。パソコンとプロジェクターを使って「雪の結晶のレプリカ」を見せていただいたり、気象衛星ひまわりから見た映像を体験したり、最後にはみんなからのたくさんの質問に答えていただいたり・・・盛りだくさんな内容でした。授業終了後も、一緒に給食を食べて、楽しくお話をすることができました。



「夏でも雪はふるんだよ。」という言葉にびっくり。



全員が、自分の見たことのある、雪の結晶を書きました。



ルーペを使って雪の結晶のレプリカを見えています。すごい!

(子供たちのお礼の手紙)

「レプリカで雪のけっしょうを見て、うれしかったです。せつめいがわかりやすかったです。」

「わたしが黒板に書いたけっしょうにまるをつけてくれた時、すごいうれしかったです!ありがとうございました。さっそくおかあさんに言います。」

「今日で、雪のことやけっしょうのしゅるいがすごくわかりました。」

「さっきの雲のえいぞうがきれいでした。また、いろいろなことを教えてください。雪のけっしょうがいろいろなものがあって、いいと思います。わたしはもっと雪のことが知りたいです。」

「ありがとうございました。いろいろなことがわかりました。初めて雪のけっしょうが成長するということがわかりました。」

◎3年生の子供たちにとって、雪の学習は、とても新鮮で驚きのようなだった。学習前は、雪が降るとうんざりしていたが、学習後は、雪が降ることをとても楽しみにするようになった。大がかりに実践するととなると、なかなか腰が上がらないが、「雪の結晶を見る」「雪穴を掘る」「雪の下の植物や虫を観察する」等は、誰でも気軽にできるので、

**みんなで楽しく「雪の学習」を始めましょう!**

(札幌市立屯田南小学校 佐藤真由美)